

ボツチくんと嘘つき彼女

シナリオ

やさしい狛犬

……ああ、もう最悪。ブラまで濡れてんじゃん……。
風邪引いたらどうすんだっつーの、アイツ……。

……げっ、先客いるじゃん……。

っーか、よりにもよってボツチくんかあ。

まじでツイてないな、今日……。はあ

……ねえ、なんかタオルとか持ってない？

躰拭きたいんだよね。

見ればわかると思うけど、ビツシヨビシヨなの、私。

そう、タオル。……あ、言つとくけど、新品じゃないと嫌だから。

男の使ったタオルなんて使いたくないに決まってんじゃん。

……え？ ない？ はあ……。あつそ。

まじで使えないね、ボツチくん。

………ね、バス待つてんでしょ？ どこ行き？

……ああ、団地ね。良かった、あとちよつとで来るじゃん。

こんな土砂降りの雨の中、バス停でボツチくんと雨宿りー、なんてまじで冗談じゃないからさ。

誰かに見られたりしたらほんと最悪だし。

ボツチくんも嫌でしょ？

クラスいちのビツチと放課後のバス停でいやらしいことしてましたあ、なんて噂されてもさ。

ボツチくん、どうせ顔真っ赤にしながら否定することもできないでしょ。童貞だから。

……あ。当たり？ はは、顔真っ赤。ウケる。

……あー、ほんと……最悪。

なんでこんな日に限ってこんな降るかな……つくしゅ。

……さむ……。

ん？ ボツチくん、どこ行くの？

美少女と二人きりでムラムラしちゃって、まさかオナニーに行くとか？

……は？ タオル？ 買いに行くって……なんで。

……は？ 私のため？

……なに言ってるの。ばかじゃないの？

そんなこと誰も頼んでないし。

彼氏でもない男にそんなことされて喜ぶとでも思ってるの？

セックスさせないなら降りろ、ってこの雨の中、車から追い出された私に対しての当てつけ？

マジでムカつくよ、そういうの。ほんと……最悪。

……ごめん。言い過ぎた。今のはちよつと、反省。

八つ当たりした。

同じクラスで、まともに話したことのないボツチくんですら優しくしてくれたのに、アイツってなんなんだろう、って思つて。

……彼氏がさ、車で学校まで迎えに来てくれたんだよね。

でも、乗るなりホテル行こうとか言い出して。

私たち、まだ付き合つて一週間だよ？

無理つて言つたら、じゃあ降りろ、って降ろされて。ひどくない？
ブスとか吐き捨てられるし。

いや、可愛いね、って街で声掛けてきたのアンタでしょ、って思つたけど。

……ねえ。ボツチくんから見て私ってどう？

可愛い？ イケてる？

……ふふっ、そんなちっちゃい声で言われてもわかんないよ。

……え？ 可愛い？ どっち見て言ってるの。こっち見て……。

ちゅっ……ははっ、すっごいびっくりしてる。おもしろ。

キスくらいでそんな驚かなくていいじゃん。しかもほっぺだよ？ スキンシップ弱いんだねー、ボツチくん。

そんなんだからボツチなんだよ。

女の子と喋ってるの、見たことないし。

……あ、ってことは私がボツチくんとお喋りした女子第一号だ？ ふふっ、良かったね、こんな美少女が記念すべき女友達第一号で。

……あー、嘘。

ついノリで言っちゃったけど、ボツチくんと友達になる気、ないから。

だってほっぺちゅーくらいで勃起する男と友達になんてなれるわけないじゃん。

ははっ、気付いてないとも思った？

ズボンの前、すっごい盛り上がってるよ？

はは、今更隠しても遅いって。ほら、見せてよ。

……うわ、ズボンまでちよつと濡れてる。

もしかして我慢汁ってやつ？　ここ、外なんですけど？

変態だねー、ボツチくん。

……ね、ちよつとおちんちん出して見せてよ。

え？　なに恥ずかしがってるの。

いいじゃん、ガチガチに硬くなったおちんちん、

美少女に見てもらえるんだよ？　光栄に思いなよ。

……もー、焦れたいなあ。いい、私が脱がせる。

……うわ、なにこれ……すっごい匂いする。

ボツチくん、ちゃんとおちんちん洗ってますかー？

使う相手がいないからって洗ってないでしょ。

だめだよ、汗の匂いがすっごい……湿ってるし……。

わっ、なんか手についた。ヌルヌルしてる！

ははっ、濡れ過ぎでしょ。

女の子じゃないんだからさあ……ほら、パンツも下げて。

え？ お尻が冷たい？ 知らないよそんなの。我慢して。

……わっ、ぶるんッ、て出てきた……。

めちやくちや先っぽ、上向いてる……。

なんかちっちやい穴がぱくぱくしてるし……あ、なんか汁が滲ん

でる。

……ふうん……男の人のおちんちんってこんな感じなんだ……。
結構、嫌いじゃないかも。

……え？ まるで初めて見たような感想？

まあ、そりゃあね。

だって私、まだ処……あー、うん。なんでもない。

気にしないで。なんでもないから。

……ね、そんなことより……。触ってもいい？ これ……。

え？ どこって、おちんちんに決まってんじゃん。

ポッチくんのこの硬くなってる湿ったおちんちんを触ってみたい

って言ってるの。……だめ？

ふーん、聞こえなーい。

……あつ、すご……。

なにこれ、ほんと硬いじゃん……なんか熱いし……。
先っぽの穴……すっごいぴくぴくしてる……。

ね……ちよつと強く握ったりしても……いいの？

……あ、それはいいんだ。

ふふ、ポツチくんのエッチ。変態。すけべ。いやらしい……。

あ、どくんつて手のひらで震えたよ、おちんちん……。

血管浮き上がってるし。

ね……、ちよつと上下に動かしたりして……みる？

そうすると男の子って気持ち良いんでしょ？

知ってるよ、それくらい……。

私だってえっちな動画とか漫画くらい見るし……。

えつと、こう……だよね？

わっ、なに、すごい、また硬くなったよ？

ちよつとシゴいただけなのに……。

ね、そんなに気持ち良いの？

おちんちんを上下にシコシコされるの……。

目、潤んでるよ？ ふふ、可愛い……

ん……ちゅ……っ

……ね、もっと速くしてあげようか？

こういうのとか……好きなんじゃない？

先っぽのこの丸いところ、ぎゅって握られるの……。

あ、やっぱりそうだ。わかりやすいね、ボツチくん。

おちんちんをシコシコしてるときにね、先っぽ擦られると切なそうな顔してたから……。

ふふ、当たりだ。

両手使ってシてあげるよ。

ほら、左手で竿をシゴいて……右手で亀頭をぎゅつと握ってあげる。

あは、手のひらが柔らかくて気持ち良い？

おまんこみたいでしょ？

ふふ、息荒くなってるよ……。

こんな外で女の子におちんちんシゴかれて気持ち良くなって、いけないんだ……先生に言いつけちゃお……。

ポツチくんは昨日、バス停で雨宿りしながら女の子におちんちんをいっぱいシコシコされて気持ち良くなってました、って……

膨らんだ血管を指先でゴリゴリ擦られて、亀頭を手のひらでぎゅつ、ぎゅつ、っておまんこみたいに包まれて、気持ち良くなってはあはあ言ってましたって……言いつけちゃお……。

ん………んっ、ああ、ねえ、もうイキそう………？

すっごい熱くなってるよ、先っぽも………竿も………すっごい硬くな
って………あっ、いやらしい音してる………

カウパー出し過ぎ。手のひら、又ツルヌルなんですけど？

ほら、いいよ、中に出して。

ポッチくんのあつつい精液ビュルビュルしていいよ？

受け止めてあげる。手のひらおまんこで。

ほら、いっぱい出して？

おちんちんの先っぽ、びゅーびゅーして？

私の手のひらおまんこはらませてる？

………あっ、あ………っ、わ、すご………手のひら、すっごい熱くなっ
てる………。

ふふ、出し過ぎ。そんなに溜まってたの？

まだ出てるし……

私の手が妊娠したらどうするの？

……え？ 責任取る、って

ふふ、ばかだなあ、ボツチくん。

手コキで妊娠するわけないでしょ。ふふ。

あ……でも、ほら。見て。

私の手のひら、こんなに真っ白……どろっとして……

これがボツチくんのザーメンなんだ。ふうん……

匂いも……すん、すん

わ、すごい。

なんかすっごいスケベな匂いがする。

女の子をはらませようとする悪い男の子の匂いがする。

ふうん……精液ってこんな匂いなんだ。へえ……。

……とところでさ、なんか拭くもの持ってないよね？

ま、そうだよね。じゃ、仕方ないか……。

ん……っ、んあ……

……え？ なにしてるの、って……

ボッチくんが汚した手のひら、舐めてるんですけど。

え、だって……嫌じゃん。精液でドロドロになった手のままでい

ろって？

そんなの気持ち悪すぎて無理。

……え？ 普通は彼氏でもない男の精液を舐める方が気持ち悪くてできない？

ふーん、そうなの？

じゃあ……ボッチくん、私の彼氏になってみる？

なんて。……ふふっ、冗談。そんなびっくりした顔しないでよ。

……傷つくじゃん。

……あ、慌てる。

ふふ、嘘うそ。冗談だよ。

ほんと、からかい甲斐があるなあ、ボツチくんは。ふふ。

……ね、お返しに私も見せて……あげようか？

なにを、って……そりゃあ……お……まんことでも言うと思っ
た？

ふふ、残念でした。

簡単におちんちん見せちゃう男の子とは違いますから。

うーん、そうだね……おっぱいくらいなら見せてあげてもいいよ。

さつきからブラが濡れてびちやびちやで気持ち悪いんだよね。

だから……

うん？ 見たい？ 充分嬉しい？

ふふ、食いつき過ぎ。

引いちゃったからやっぱやめようかなあ……

ふふ、嘘だよ。

そんな悲しそうな顔しないで。可愛いなあ、ボツチくん……
ほら、ボタン……外していいよ。

指……震えてる。寒いのか？

じゃあ、もつとくつつこ……こつち来て……。

……シャツ……脱げたね……

ブラ……外し方、わかんないんでしょ？

いいよ、外してあげる……

その代わりに、チュウして……。

え？ だって、恥ずかしいから……

ボツチくん、きつとすっごい目で私のおっぱい見るでしょ……

乳首、こんな色なんだ、とか、こんな形なんだ、とかすっごい観

察してさ……

だから、キスしながらちよつと見るくらいならいいから……
ほら、早く……。

でも……つて、もう……チュウしたいって言うてんの！
早くする！

ん……っ、んう

はあ……舌、あつつい……

ん……ボツチくん、チュウするの、私が初めてでしよ……？

私もこういうキスするの、初めてだな……

いつも、男の人の舌が入ってくるの、唇をぎゅってして、拒んで
たから……

でも、なんでだろ。

ボツチくんにされるのはあんまり嫌じゃないな……

もつと……絡めよう？

舌……溶けちゃうくらい……ん……んあ

……あつ、ブラ、外せた……って、ボツチくん、見過ぎ……
もう、ほんと……あんま見ないでって言ったのに……

ほら、やっぱりすっごい目してる。

おちんちんみたいに充血してるし。

乳首、硬くなってる、って……当たり前でしょ。

男の子とえっちなチュウしてるんだから。

右と左で微妙に乳首の大きさが違う、って……そんなの、オナニ

ーするときにいじるおっぱいが違うんだから当たり前……

って、ほんと、なに言わせるの。最低！ 最悪！ ばか！

罰としておっぱい触らせてあげない！ 指一本触れちゃだめ！

……嘘。指一本くらいなら触ってもいいよ。

……んっ、あ……乳首、つんって……あ……だ、だめ……。

指、勝手に増やしてるし……あ……ああん……乳首、くにくにしない……そんな……えっちな触り方、やだ……えっちな……えっちなおっぱいになっちゃう……あ、ああ……んッ、あ、ほら……言ってるそばから、乳首、ぷくってして……こりこりになっちゃった……あ……や、やだ、っ、摘ままないで……。ん……っ、あ……ああ……。

え……いつも、どんな風にいじってるの、って……そんなの、知らない……

目を閉じて……気持ち良いところ、気持ち良いように触ってるだけだし……

あっ、うん、それ……それ、好き……

先っぽ、かりかりされるの好き……あ……引っ張られ……

あつ、あツ、だめ、あツ、なんか、あツ、き、きちやう、
なんで、いつもより、ずっと早い……あツ、あああツ、あああ
ああツ！

……ツ、はあ……はあ……。

ん……

……ねえ

おっぱい触ってもいいとは言ったけど、おっぱいでイかせていい
なんて一言も言っていないんですけど……？
ごめん、って……絶対反省してないし。

言っておくけど、ボツチくんがおっぱいだけいじるの上手とかじゃな
くて、私が単におっぱいの感度が高いだけだから。

勘違いして他の子のおっぱいとかいじったりしたらだめだよ。
そんなことしたら怒るから、私。

……つてか、またおちんちん硬くなってるし……
さつき出したばっかりじゃん。

もう手でするの嫌だよ、私。疲れるし。

精液舐めたらポツチくん引いてたし。

……引いてない、むしろ嬉しかった、つて……そんな必死な顔で
言われても。

……ふーん、ザーメン舐められて嬉しかったんだ？ ポツチくん。
じゃあもつと喜ぶこととしてあげようか？

例えばおちんちんをお口でじゅぶじゅぶしたり……
ふふっ、冗談だよ。

そんな嬉しそうな顔されても、困るから……

ほんと、冗談……。

……シて、欲しいの？ほんとに？

……しよがないなあ……じゃあ……ちよつとだけだからね。

先っぽ……ちよつと舐めるだけ。それでいい？
うん……それなら。

……ん……んあ……あ、先っぽ……

ザーメンと同じ味がするね……ん、当たり前か……

さつき、ここから出したんだもんね、びゆるびゆるって……

熱くて……いっぱい出たよね……気持ち良かった……？

ん……？　今も気持ち良い……？

ふふ、ボツチくんって、甘え上手だね……

可愛いから……もうちよつと舐めてあげる……、

ん……っ

んあ……なんか、汗と混じって……

変な味……これがおちんちんの味なんだ……

なんか……クセになっちゃうかも……、

ん……ッ、んあ

あ……、ねえ、こうやって……根元からろんってされるのと、先つぽ……れろれろ舐め回すの……どつちが好き……？
好きな方、やってあげる……。

え……？ どつちも……？

ふふ、それはだめ。欲張りさん。

そんなボツチくんには罰として……先つぽ、ちゅうちゅうの刑。
ん……ッ

んあ……っ、んう……っ、つぶは

ねえ、おちんちん、今、すつごいぶくって太ったよ、わかった？
ふふ、目の前でそんなに大きくなったから、
びっくりしちやった……

ね、見て。ほら……先つぽもこんなに腫れて、硬くなつて……
えっちな匂いしてる。

私の唾液と、ポッチくんのおちんちんの匂いが混ざってる。
すぐくスケベな匂いがするよ……

ん……っ

んあ……っ、すご、おつきい……苦しいのに、なんか、

もっとお口に入れたくなっちゃう……

中に……ポッチくんのおちんちん、欲しくなっちゃう……っ、

ん……っ

ん……っ、あ、おいしい……

ポッチくんのおちんちん、おいしい……あっ、お口、止まんない

……もっど、もっどちようだい……っ

おちんちん、じゅぶじゅぶして……っ、

中に、中に出されたい……っ、

おちんちんザーメン、いっぱい飲みたい……っ

ん……っ、んう……っ！

んふうううッ!

……っは、はー、はー、はあ……。

あ、ああ……、ん……ごくっ

あ、濃い……どろって……どろってしてる……

私の中、ボッチくんのザーメンが落ちてく……。

ん……はあ……あ……あ……。

ね……、ボッチくん……私……どうしよう

すぐく……すぐ濡れてるの……躰が……熱くて……なんだかす

ごく……い、いやらしい気分なの……

どうしよ……あ、助け……て……私に……いやらしいことをして

……えっちなことをして……して、ください……お願い……。

あ……ッ！

そんな、いきなりスカートめくら……んッ！

あッ、ああッ、だ、だめ、あッ、いきなり、おちんちん入れちやうなんて、そんなの、だ、だめ、気持ち良すぎちやう、私の中、今、すっごいえっちなつてから……ッ、あッ、あああああんッ！

ああッ、は、入っちゃった、入っちゃったよう

お、おちんちん、中に入っちゃった、

しよ、処女なのに、簡単に入っちゃった……、

あッ、だ、だめ、ま、まだ動かないで、

今、ちよつとイッちやったから、

あ、だめ、だめって言うてるのに

あッ、だ、だめ、おまんこ擦られてる、

硬いバキバキのおちんちんでいっぱいぐぢゅぐぢゅさされてる、
あッ、あッ、あッ、あッ、だ、だめ、
あッ、そ、そんな、角度とかつけて、腰振っちゃ……ッ！

あッ、だめ、おちんちん、すごいところ当たってる、

あッ、だめ、声、止まんないっ、あッ、ああッ、ああああッ！
い、イク！ イッちやうう！ あッ、あああッ！

あッ、ああ、だめ、だめだめだめだめ、

い、今、イッてるのに、イッてる最中なのに、

な、んで、おちんちん止めてくれないの……？

や、やだ、あッ、ああッ、ま、またイクッ……、

イッちやう……ッ、

あッ、おまんこの壁、震えちやう……っ、あッ、あああああッ！

あ……ああ……、あ……、

おまんこ、ぱくぱくしてる……おちんちん、食べてる……
硬くて……太くて……すっごくおいしくて……おまんこ溶けちゃ
うって言ってる……、

あ……、え……？ 今度は後ろから……？

や、やだ、この格好……おっぱい、揺れちゃうから……

あつ、だめ、やだって言ってるのに……っ、

ああ……ッ、だめ、あつ、やだ、は、恥ずかしい……っ、

おっぱい、えっちな揺れ方してる……っ、

あ、だめ、だめだって、見えちゃう、見えちゃうから、外から……
っ、おっぱい、外から見えちゃう……っ、いっぱい、たっぷん
たっぷん揺れて、生交尾してるの誰かに見られちゃう……っ、
えっちな女の子だと思われちゃう……ッ、

あッ、あああああッ！

あ……あ……い、イツちやった……
だめ……やだ、って言ったのに……

なんでやめてくれないの……？

ボツチくんなんて嫌い……ひどい……最低……大嫌い……
嘘。

ほんととは嫌いじゃないよ……

失恋したとこなんて、誰にも見られなくなかったのに……
バス停に誰かがいるの、わかったとき……

ほんととは逃げようって思ったの……

でも、いたのがボツチくんだったから……まあいいかなって思っ
たんだ……

きみは傷ついた女の子を馬鹿にするような人じゃないと思ったし

……きみに慰めてもらうのもアリかなって、そう思ってた……、
ん……

あ……おちんちん、抜けちゃった……

ね、今度はこうやってシよ……？

きみにばかり腰振られるのも、なんか悔しいしさ。

ほら……座って。私もきみの上に座るから……、

んツ、ほら……

あ、簡単におちんちん、ずぶって入っちゃったね……

ふふ。いっぱいエツチしたからだ……

でも、この体勢だとおまんこの中、全然違うところに擦れるから

……なんか、不思議……、んツ

あ、ああ……あ……これ、すごいね……

たくさん、色んな壁に擦れて……私の中、すっごい音してる……
あ、すごい、中から溢れて……あッ

ね……気持ちいい？

気持ちいいって言って……

おまんこの中、気持ちいいって……、私の名前、呼んで……、
ん？ そう、理砂だよ。ふふ、知ってたんだ。私の名前……
もしかして、前から私のこと、ちよつと好きだったりする？

……いいよ、嘘でも。

好きって言って。理砂、好き、って言って。

そうしたら、きつと、嬉しくておまんこ締まっちゃうから。

もつともつときつくぎゆうぎゆうおちんちん抱き締めちゃうから。
だから、言って。

……ふふ、聞こえないよ、そんなちっちゃな声じゃあ。

もつと……囁くように……

本当にそう思ってるみたい……言……言……言……

……嬉しい……。

あ……ッ、ああ……ッ

くる……きちやう……すごい、きちやう……

おまんこ、ぎゆうつてしてる、おちんちん、いっばいぎゆうつてしてる、

あッ、あッ、あッ、あッ、ああッ、あ、いく、いく、イツちやう、おまんこ、いっばいイツちやう、イツちやうの、あッ、

一緒に、一緒にイキたい、一緒にイツて、いっばいイツて、あ、中に、中に出して、理砂の中に、理砂のおまんこを幸せにして、理砂の中でいっばい幸せになつて、

あッ、あああッ、あああッ！ い、イクッ！ い、イツちやう

ううううッ！ あッ、あああああッ！

……つ、は……はあ……はあ……あ……、

あ……いっぱい、出たね……

凄く震えて……中に出したの、わかったよ……

熱くて……奥が溶けちやいそうだったから……、

ん……

ふふ、おちんちん、やつと柔らかくなったね……

気持ち良かったんだ？

くったりしてる……ふふ、可愛い

ん……

……あれ……ちよつと待って……

何か聞こえ……

あつ、バス！

バス来てる、やばい、早く服着て……ほら、ボツチくん、なにぼーつとしてるの、早くそれしまつて！

……お掃除フェラがまだ途中？

ふざけたこと言つてると露出狂としてチクるから。

私、被害者ですつて言うから。

……え？ 嘘じゃないよ。本気。

……ほら、バスきた。ええつと……あれは団地行きかな。

私は駅方面だから乗らないよ。

たとえ同じバスに乗るとしても、隣の席に座るとか勘弁して欲しいし。

もし誰かに目撃されて、ボツチくんと付き合ってるなんて誤解でもされたら絶対に嫌だし。

…え、なにその顔？

もしかしてシヨック受けてる？

ふふ。

ああ、さっきの信じちゃったんだ。

ボツチくんのこと、好きなわけないじゃん。

あんなのエッチのノリで、サービスで言ったただけだよ。

本当は処女じゃないし。彼氏ともやりまくってたし。

ただ今日はちよつと喧嘩しただけ。

憂さ晴らしに浮気セックスしただけだよ。

なのに本気になっちゃって、ばかみたい。

ふふ、ほんとからかい甲斐あるね、きみって。

ほら、早く乗りなよ。行っちゃうよ？ 早く。

………。なんで乗らなかったの？

次、バス来るの、一時間後だよ……。ばかじゃないの？

なんで……。なんで、私を慰めるの？

やめてよ、そんなの……

好きになっちゃうじゃん……

一日に二回も失恋するのは、さすがに耐えられないんだって……

わかってるんだよ、私は……

きみが好きになるようなタイプじゃないって……

さつきも……。好きって、すぐ言ってくれなかった……

ちよつと困ったような顔して……。私、凄く胸が苦しくなった……

私のことを好きじゃない男の子に、私の初めてをあげちゃったつ

て、凄く悲しくなった……

私は……。きみのこと、ちよつと好きになりかけてたのに……

だから……。その……

ごめん。怒ってる？

……嘘。

ちよつと怒ってるでしょ……違うの？

ちよつと悲しかっただけ？

ふうん……。

ね……じゃあ、こっちに来て。

頭、撫でてあげる。

……知ってる？

つらいときにね、優しくされると人は簡単に恋に落ちるんだよ。

私はそうなの。きみも……そうだったらいいな……。

了

二〇二四年二月五日

やさしい狛犬